



平成23年12月12日

「楽しい子育て全国キャンペーン」 ～親子で話そう！家族のきずな・我が家のルール～三行詩優秀作品の選定について

「親子で話そう！家族のきずな・我が家のルール」三行詩募集について、12月1日に開催されました選考委員会において、優秀作品を選定いたしましたのでお知らせいたします。

本事業は、都市化、核家族化、少子化など子育てや家庭教育を支える地域の環境が変化する中、あらためて、親子のコミュニケーションなどによって育まれる家族のきずなや、家庭でのルールづくり、「早寝早起き朝ごはん」といった子どもたちの基本的な生活習慣づくりなど、親子で話し合ったり、一緒に取り組むことの大切さを社会全体で呼びかけていくため、社団法人日本PTA全国協議会との共催により実施したものです。

なお、優秀作品については、12月26日（月）に文部科学省において、表彰式を行うこととしております。

1. 募集結果

○応募総数 60,272作品

（応募作品内訳：小学生の部33,688作品 中学生の部20,704作品 一般の部 3,674作品）

※一部内訳が不明な地域があるため、各部門の応募数と応募総数は一致しない。

2. 選考結果（別紙のとおり）

○文部科学大臣賞

○厚生労働大臣賞

○社団法人日本PTA全国協議会会長賞

○「早寝早起き朝ごはん」全国協議会会長賞

それぞれ小学生の部、中学生の部、一般の部 各1作品ずつ 全12作品

※その他 佳作 18作品

3. 表彰式

○日時 平成23年12月26日（月）14:00～14:30

○会場 文部科学省旧庁舎6階講堂

（東京都千代田区霞が関3-2-2）

4. 優秀作品について

文部科学省及び社団法人日本PTA全国協議会のホームページに掲載するとともに、家庭教育支援に関する資料等において活用することとしています。

(添付資料)三行詩募集実施要綱

<担当> 生涯学習政策局男女共同参画学習課家庭教育支援室
室長 横田 玲子 家庭教育振興係長 入江優子(内線 2927)
電話：03-5253-4111 (代表) 03-6734-2927 (直通)

<参考1>

選考委員会について

○選考委員(五十音順)

青沼 貴子	漫画家
東 憲彦	社団法人日本PTA全国協議会副会長(京都府PTA協議会会長)
杉上 春彦	厚生労働省雇用均等・児童家庭局 育成環境課長
角谷 詩織	上越教育大学大学院学校教育研究科准教授
俵 万智	歌人
中橋恵美子	NPO 法人わははネット理事長
服部 幸應	服部栄養専門学校理事長・校長 「早寝早起き朝ごはん」全国協議会副会長
松本 貢一	住友生命保険相互会社調査広報部長
三好 仁司	文部科学省視学官

<参考2>

三行詩募集について

- 募集対象 小学生、中学生、保護者、教職員等
- 募集内容 「親子で話そう! 家族のきずな・我が家のルール」に関する三行詩
- 募集期間 平成23年7月1日～平成23年9月5日
- 主 催 文部科学省、社団法人日本PTA全国協議会

受賞作品一覧

○ 文部科学大臣賞

◆小学生の部

大津波
父さんの店をのみこんだ
父さん負けるな私がつぐその日まで

西村 沙弥（宮城県宮城郡松島町 小学校4年生）

◆中学生の部

そっと頭をなでる母の手が やさしくて 寝たふりをする

秋山 椎名（愛媛県今治市 中学校1年生）

◆一般の部

家庭菜園
似てます なぜか うちの子に
不揃いだけど 味がある

小寺 優子（愛知県名古屋市）

○ 厚生労働大臣賞

◆小学生の部

ちょっとのがまんは？「幸せの素」
みんなの笑顔は？「元気の素」
あいさつは？「仲良しの素」

鍛治 美里（長崎県佐世保市 小学校4年生）

◆中学生の部

母の作るお弁当
残さず食べるが私のルール
苦手な野菜が必ず一つ
母の思いにごちそうさま

三浦 未久（埼玉県北葛飾郡杉戸町 中学校1年生）

◆一般の部

「迎えに行って」と妻が言う
面倒臭いと思いつつ
来て良かったと思う
夜の駅 板坂 剛（石川県羽咋市）

○ 社団法人日本PTA全国協議会会長賞

◆小学生の部

いつも口うるさいお母さん
だけど内緒で数えてたら
優しい方が多かった。
渡辺 美優（宮城県気仙沼市 小学校6年生）

◆中学生の部

地震おき
着信りれきに
「父」いっぱい 坂井 珠理（神奈川県横浜市 中学校1年生）

◆一般の部

父さんは、しかる役
母さんは、なだめ役
そして、おまえは、のびる役
真下 秀生（富山県魚津市）

○ 「早寝早起き朝ごはん」全国協議会会長賞

◆小学生の部

トントントン台所から聞こえる
母の包丁の音
わたしの大事な目覚まし時計
堤 理子（鹿児島県阿久根市 小学校5年生）

◆中学生の部

電気を消して早寝をしよう！ 僕でもできる節電対策。
勉強したのと母の声。

柏木 優輝（三重県亀山市 中学校3年生）

◆一般の部

夜の九時
布団の上はにぎやかな
我が家の
ふれあい動物園

田近 京子（神奈川県横浜市）

○ 佳作作品

◆小学生の部

朝ご飯 「うめ～」 「うめ～」 とやぎのまね ニコニコ笑顔がいっぱいだ！！
（榊 赴慶 青森県 小学校3年生）

マッサージ機 あるけどやっぱり ぼくの手で
（遠藤 龍大 青森県 小学校5年生）

あの日の地しんでわかったよ。一人きりでこわかった事
パパ、ママ、お兄ちゃんのかおがうかんだ事 いっしょにいてだけで幸せな事
（三代川心南 千葉県 小学校4年生）

兄ちゃんが東京にひっこした。 ごはんの時の席が、自由になった。
うれしいはずなのになぜかさびしい。 （本田 健大 富山県 小学校4年生）

ママがわらったら、ぼくもうれしい、ママがなくとぼくもかなしい
おこられたぼくは、せつない じゃあ、おこったママもせつないのかなあ。
（熊谷 大樹 長野県 小学校3年生）

「うちはゲームは買わへんで。」ってお父さんが言う。
そのかわり、いっしょに しょうぎ してくれるよ。
（近藤 聡 滋賀県 小学校2年生）

お父さんとのキャッチボール ボールにこめるぼくの気持ち
心もいっしょにキャッチボール （鎌田 在希 奈良県 小学校5年生）

大好きな夜ごはんのおかず、全部食べたいな。
でも大好きなお父さんにも 残しておこうかな？

(小林 海翔 福岡市 小学校 1 年生)

◆ 中学生の部

ごめんなさい。その一言が言えないの。本当は、大好き、お母さん。

(十川 美佳 北海道 中学校 2 年生)

泥だらけのユニフォームと 空っぽのお弁当箱 これが母への「ありがとう」

(金井 将大 埼玉県 中学校 1 年生)

母の背においついていろんなものが 見えてきた
増えた白髪とたくさんの心配と ありがとうの気持ち

(北川 結貴 富山県 中学校 1 年生)

進路先 第一希望は 親高校！

(佐々木聖史 広島市 中学校 3 年生)

早起きの母の弁当おいしくて、きつい部活もがんばれる。

「いただきます」そして、ありがとう。(中島里緒奈 熊本県 中学校 1 年生)

一つの部屋で全員寝る 意外と楽しい 夏の節約

(與儀 大都 沖縄県 中学校 1 年生)

◆ 一般の部

『ただいま』の声で分かるよ、今日1日の あなたの出来事。

(座主坊有希 東京都)

寝ころんで 背中あるきのマッサージ。 君の重さがちょうどいい。

(池田美智子 川崎市)

大げさだって笑ってもいいよ。よく帰ってきたねと家族にハグする、
震災の日から生まれた私だけのルール

(井上 有子 横浜市)

「うるさいな」… 娘に言われ、思いだす、同じセリフを言ったこと
親になり、親をおもう。

(朝野優美子 富山県)

「楽しい子育て全国キャンペーン」
～親子で話そう！家族のきずな・我が家のルール～
三行詩募集実施要綱

平成22年 6月 3日
生涯学習政策局長決定
平成23年5月26日一部改正

1. 趣旨

都市化や核家族化、少子化など、子育てや家庭教育を支える地域の環境が変化する中、あらためて、親子のコミュニケーションなどによって育まれる家族のきずなや、家庭のルール、「早寝早起き朝ごはん」といった子どもたちの基本的な生活習慣づくりなど、親子で話し合ったり、一緒に取り組むことを社会全体で呼びかけていくため、これらをテーマとする三行詩を募集し、表彰を行う。

本取組は、家庭教育の振興を図る観点から、これまで日本PTA全国協議会が実施してきた「楽しい子育て全国キャンペーン」の三行詩募集事業を文部科学省として共催し、日本PTA全国協議会並びに地方PTA協議会等と学校との連携の促進を図ることを目指す。

2. 概要

(1) 募集対象： 小学生・中学生の子どもと保護者、教職員等

(2) 募集内容： 「親子で話そう！家族のきずな・我が家のルール」に関する三行詩

- ・三行詩とは、三行程度の短文の意味合いであり、必ずしも三行である必要はなく、俳句のようなものでも構わない。
- ・家庭での日常のやりとりなどから思いついた、親子のコミュニケーションなどによって育まれる家族のきずなや、家庭のルール、「早寝早起き朝ごはん」といった基本的な生活習慣づくりなど、親子で話し合ったり、一緒に取り組むことの大切さを短文に表現したものであること。

(3) 募集方法： ・文部科学省、社団法人日本PTA全国協議会のホームページに掲載
・教育委員会、都道府県・政令指定都市のPTA連合会・協議会等を通じて、公立の各小学校、中学校PTA等にて募集

(4) 募集期間： 平成23年7月1日(金)～平成23年9月5日(月)

(5) 応募方法： 募集リーフレットの裏面にある「応募用紙」、または、文部科学省及び社団法人日本PTA全国協議会ホームページに掲載する所定の「応募用紙」、あるいは、A4サイズ用の紙に、氏名(ふりがな)、年齢(学年)、住所、電話番号、学校名等、三行詩を記入の上、以下の応募先にご応募ください。

<応募先>

①お子さんが公立学校に在籍する場合：

子どもの在籍する学校等へ提出してください(各学校PTAがとりまとめます)。

②その他の場合：

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

「文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課家庭教育支援室 三行詩募集係」宛に郵送してください。

<問い合わせ先>

①お子さんが公立学校に在籍する場合:

在籍する学校 PTA、またはお住まいの都道府県・政令指定都市の PTA 連合会・協議会

②その他の場合:

文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課家庭教育支援室 三行詩募集係
TEL: 03(6734)2927

<募集リーフレット掲載ホームページ>

文部科学省: <http://www.mext.go.jp/>

社団法人日本 PTA 全国協議会: <http://www.nippon-pta.or.jp/>

3. 主 催

文部科学省、社団法人日本 PTA 全国協議会

4. 選考方法

第一次選考:①お子さんが公立学校に在籍する場合:

各都道府県・政令指定都市の PTA 連合会・協議会毎に、応募のあった作品の選考を行い、小学生、中学生、一般の各部それぞれ5点を上限として選出し、10月5日(水)までに社団法人日本 PTA 全国協議会に推薦する。

②その他の場合:

文部科学省において、応募のあった作品の選考を行い、小学生、中学生、一般の各部それぞれ5点を上限として選出し、10月5日(水)までに社団法人日本 PTA 全国協議会に推薦する。

最終選考: 社団法人日本 PTA 全国協議会の協力を得て文部科学省に設置する選考委員会(外部有識者等で構成)において、第一次選考で選出された作品から優れた作品を、小学生、中学生、一般の各部それぞれ10点を上限として選定する。

5. 表 彰 等

(1)発表:選定された作品は、選定後速やかに作品の応募者に通知するとともに、文部科学省及び社団法人日本 PTA 全国協議会ホームページにて発表する。

(2)表彰:表彰式は、12月を目途に文部科学省内で開催予定。優秀作品には表彰状を贈呈。

6. 作品の活用等

・すべての優秀作品の著作権は、文部科学省及び社団法人日本 PTA 全国協議会に帰属する。

・優秀作品については、文部科学省と日本 PTA 全国協議会の家庭教育支援関連資料やパンフレット、各種イベント等における広報・啓発活動において幅広く活用予定。

7. その他

(1)庶務は、生涯学習政策局男女共同参画学習課家庭教育支援室において処理する。

(2)本要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。